

# ダイナモメータ

# DYNAFOR

## M K 3 用遠隔表示装置

### 取扱説明書



#### 警告

- MK 3 用遠隔表示装置をご使用の前に必ずご熟読ください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

目次	ページ
当製品をご使用になる前に	1
1. ご使用上の注意	2
2. 各部の名称と外形寸法	3
3. 仕様	3
4. 使用方法	4
【1】 ダイナホール本体の設定	4
【2】 ダイナホール本体の電源OFF	4
【3】 専用ケーブルの接続	4
【4】 スライドスイッチON	4
【5】 使用後	4
5. 使用可能バッテリーと連続使用可能時間	6
6. 専用ケーブルの長さ変更	6
7. その他	6
8. 保管上の注意	6

## 《当製品をご使用になる前に》

この度は、ダイナホールMK3用遠隔表示装置をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

ご購入いただきましたダイナホールMK3用遠隔表示装置は、ダイナモメータ：ダイナホール(DYNAFOR)MK3の操作性を向上させるためのオプション品です。

当製品の安全対策には、十分気を付けておりますが、お客様がより安全に製品をフル活用いただくため、又、末永くご愛用していただくためにも、この遠隔表示装置とダイナホール本体の取扱説明書を合わせて熟読され、注意事項を守り、正しくご使用してください。

注意事項等の前には



取扱いを誤った場合に、使用者および第三者が死亡又は重傷を負う危険の状態が生じることが想定され、かつ危険発生時の警告の緊迫性（切迫の度合い）が高い限定的な場合（高度な危険を含む）。

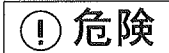



取扱いを誤った場合に、使用者および第三者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。





取扱いを誤った場合に、使用者および第三者が重傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

を表示区分してあります。ただし、表示であっても、ご使用方法によっては

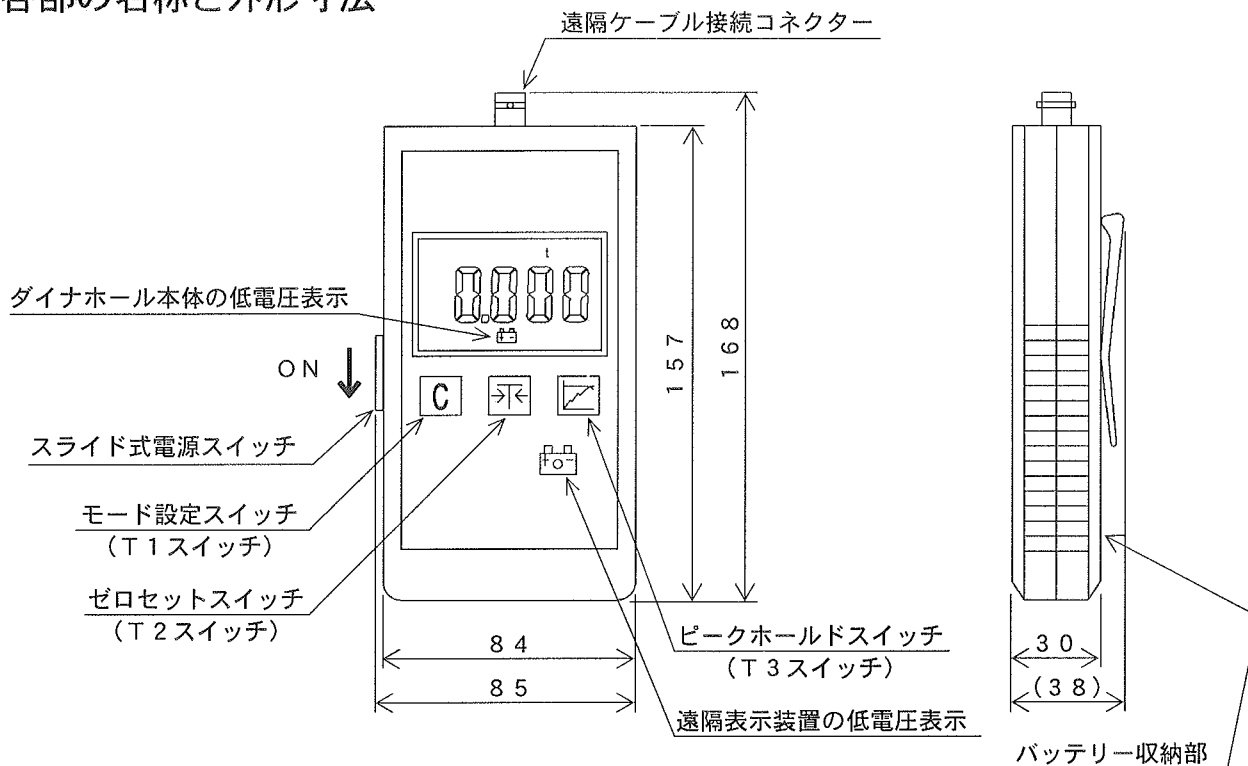
 と同様の結果が発生する恐れがありますので、いずれについても必ずお守りください。

## 1. ご使用上の注意

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●MK 3用遠隔表示装置が届きましたら、保証書および製品の機種がご注文された内容と一致しているか、また輸送中の事故等で変形や損傷が発生していないかを必ず確認してください。</li><li>●当製品取扱い中、投げる・落とす・衝撃を加える等の行為はしないでください。</li><li>●通常の屋外での使用には適していますが、耐水性がないため、激しい雨中および水中での使用はしないでください。</li></ul>
---	---

 <b>危険</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●温度変化の多いところ・腐食性ガスのあるところ・激しい振動のある場所では使用しないでください。</li><li>●当製品の改造をしないでください。</li><li>●当製品には最大能力はありませんが、ダイナホール本体の最大能力を守って使用してください。</li></ul>
---	--

## 2. 各部の名称と外形寸法



## 3. 仕様

※全てのダイナホールMK3に使用可能 (ダイナホール本体の製造年によっては、使用できない場合があります)

※オートパワーオフ機能を除き、ダイナホール本体同様の各種機能が設定可能

(使用方法及び設定方法については、ダイナホール本体の取扱説明書を参照ください。)

※最大遠隔距離 : 50mまで可能 (標準は10m)

※液晶文字高さ : 1.8mm

※使用バッテリー : 006Pタイプ (9V) × 1個

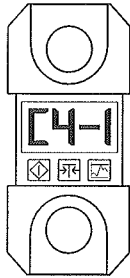
## 4. 使用方法



### 注意

- 使用方法を間違えますと、遠隔表示装置の操作及び荷重表示ができなくなる場合があります。  
以下の手順に従い、正しくご使用ください。

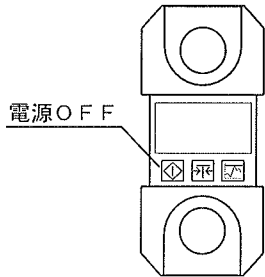
#### 【1】 ダイナホール本体の設定



事前に、ダイナホール本体が、遠隔表示装置に出力するように設定を行います。

ダイナホール本体の取扱説明書を参照して、遠隔表示出力のモードC4を、  
《C4-1》にしてください。

#### 【2】 ダイナホール本体の電源OFF



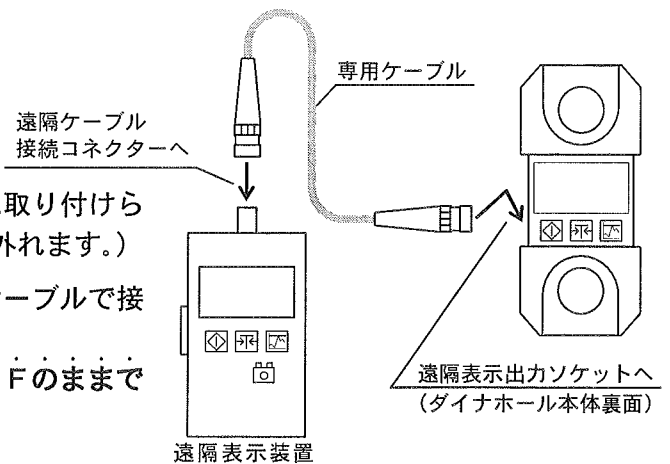
「C4-1」に設定しましたら、ダイナホール本体の電源をOFFにしてください。

#### 【3】 専用ケーブルの接続

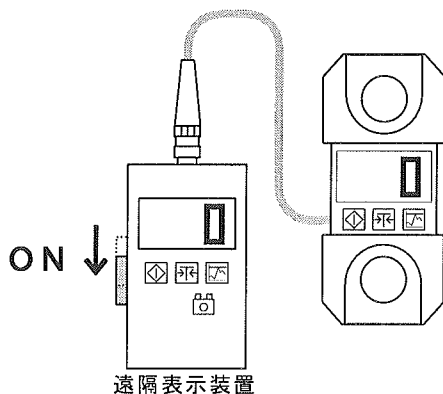
ダイナホール本体背面にある遠隔表示ソケットに取り付けられているキャップを外します。(左に少し回すと外れます。)

次に、ダイナホール本体と遠隔表示装置を専用ケーブルで接続します。

ダイナホール本体と遠隔表示装置の電源は、OFFのままで専用ケーブルを接続してください。



#### 【4】 スライドスイッチON

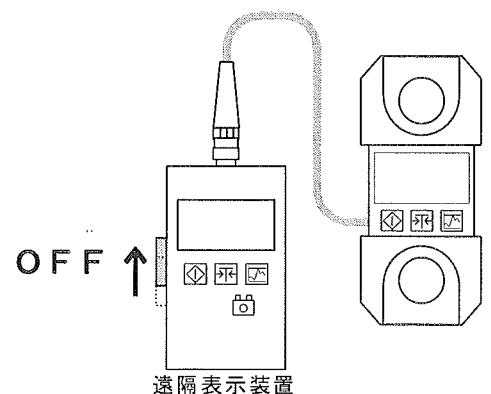


遠隔表示装置の側面にあるスライド式電源スイッチをONにしてください。

ダイナホール本体と遠隔表示装置両方の電源がONになります。

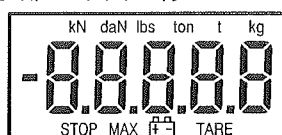
#### 【5】 使用後

ダイナホール本体と遠隔表示装置のご使用が終わりましたら、遠隔表示装置の側面にあるスライド式電源スイッチをOFFにしてください。



●電源のON時の表示

遠隔表示装置のスライド式電源スイッチをONにすると、遠隔表示装置の液晶表示部は下図の様になります。



この間ダイナホールは、本体内部の回路チェックを行い、内部チェック過程が終了すると、通常の本体表示状態になります。

●電源のOFF時の表示



遠隔表示装置のスライド式電源スイッチをOFFにすると、遠隔表示装置の液晶表示部は左図のようになります。この表示がしばらく続いてから、電源はOFFになります。

●電源の再ON

遠隔表示装置のスライド式電源スイッチをOFF後再度ONにするには、5秒くらいの間隔を開けてください。

電源OFF後内部回路がリセットを行います。リセット中に再度電源をONにしますと、正常に機能しない場合があります。

(この場合は、間隔を開けてから再度電源をONにしてください。)

●オートパワーオフ

遠隔表示装置を使用した場合は、ダイナホール本体でオートパワーオフモード《C3-1》が設定されていても機能しません。


使用後は、必ず遠隔表示装置の側面にあるスライド式電源スイッチをOFFにしてください。

●遠隔表示出力のモード設定

遠隔表示装置側で遠隔出力のモードC4を《C4-0》(遠隔表示出力OFF)に設定すると、遠隔表示装置が使用できなくなります。

誤って、《C4-0》に設定した場合は、再度ダイナホール本体側で遠隔表示出力のモードC4を《C4-1》(遠隔表示出力ON)に変更してください。

●T1スイッチ

遠隔表示装置前面にあるT1スイッチ  は、測定機能のモード設定時のみ有効です。

ダイナホール本体のように、電源のON/OFF操作はできません。

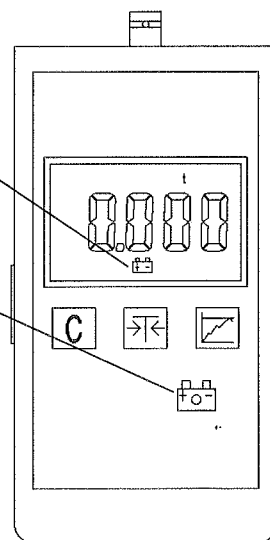
●低電圧表示

ダイナホール本体の電池電圧が低下すると、遠隔表示装置の液晶表示にバッテリーマークを表示します。

遠隔表示装置の電池電圧が低下すると、前面のバッテリーマーク中央部の赤色ランプが点灯します。

低電圧表示をした場合は、ただちにバッテリーを交換してください。



低電圧のまま使用されますと、正確な荷重を表示しない可能性があります。



 **注意**

## 5. 使用可能バッテリーと連続使用可能時間

- ※006P形アルカリ乾電池(9V)×1個                      連続使用可能時間 約250時間
- ※006P形マンガン乾電池(9V)×1本                    連続使用可能時間 約90時間
- ※バッテリーのメーカーや種類により、連続使用可能時間が異なります。

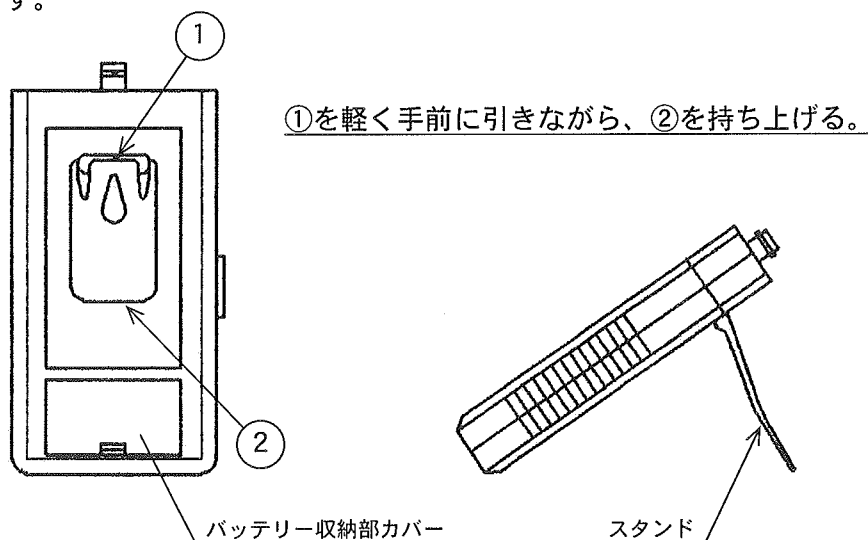
 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ピークホールド機能を使用する場合は、遠隔表示装置のバッテリーの連続使用時間は、約1/3になります。</li> </ul>
 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●長時間使用しないときは、バッテリーを本体から取り出してください。</li> </ul>

## 6. 専用ケーブルの長さ変更




- ※遠隔表示装置用専用ケーブルの標準長さは、10mです。
- ※10m以上の長さが必要な場合は、BNC型・メス・メス・アダプターで10mケーブルを接続して延長することができます。
- ※最大で、10mケーブル×5本=50mまで延長できます。
- ※BNC型・メス・メス・アダプターおよび延長用ケーブルのご購入は、当社までご相談ください。

## 7. その他

- ※遠隔表示装置を机上に置いて使用する場合は、下図のようにスタンドを起こして使用すると読み取りが容易です。



## 8. 保管上の注意

 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●使用後は、ダイナホール本体のケースに入れ、常温かつ湿度の低いところに保管し、衝撃を与えないようにしてください。</li> </ul>
 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●長時間使用しないときは、バッテリーを本体から取り出してください。</li> </ul>
 <b>危険</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●分解点検をしないでください。</li> </ul>

サービスステーション

サービスステーション	住 所	電 話
札幌サービスステーション	〒007-0835 札幌市東区北 35 条東 2 丁目 1-5	011-711-6012
仙台サービスステーション	〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代 2 丁目 20-8	022-237-2434
新潟サービスステーション	〒950-0855 新潟市東区江南 3 丁目 6-23	025-287-3351
東京サービスステーション	〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7 丁目 51-2	03-3810-4583
北関東サービスステーション	〒370-0535 群馬県邑楽郡大泉町寄木戸字東原 948	0276-62-6804
静岡サービスステーション	〒422-8033 静岡市駿河区登呂 6 丁目 2-17	054-282-0661
名古屋サービスステーション	〒460-0024 名古屋市中区正木 1 丁目 2-4	052-323-2588
富山サービスステーション	〒930-0985 富山市田中町 2 丁目 10-23	076-442-1174
滋賀サービスステーション	〒524-0021 滋賀県守山市吉身町 129-1	077-582-1489
大阪サービスステーション	〒578-0965 大阪市北区梅田 1 丁目 2 番 2-400 号	06-6344-6245
高松サービスステーション	〒760-0080 高松市木太町 5070 番地 23	087-866-6838
広島サービスステーション	〒733-0012 広島市西区中広町 1 丁目 6 番 7 号	082-291-7572
福岡サービスステーション	〒816-0893 福岡市博多区那珂 6-1-37	092-451-0911
北九州サービスステーション	〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 2-15-1	093-531-4784



本 社 〒530-0001 大阪市北区梅田 1 丁目 2 番 2-1000 号 TEL. 06 (6344) 6231 FAX. 06 (6456) 2920  
大阪駅前第 2 ビル 10 階

守 山 工 場 〒524-0021 滋賀県守山市吉身町 126 TEL. 077 (583) 1212 FAX. 077 (583) 1216

赤 穂 工 場 〒678-0165 兵庫県赤穂市木津 1325-78 TEL. 0791 (48) 8866 FAX. 0791 (48) 0085

東 部 事 業 所 〒370-0535 群馬県邑楽郡大泉町寄木戸字東原 948 TEL. 0276 (62) 6840 FAX. 0276 (40) 3560